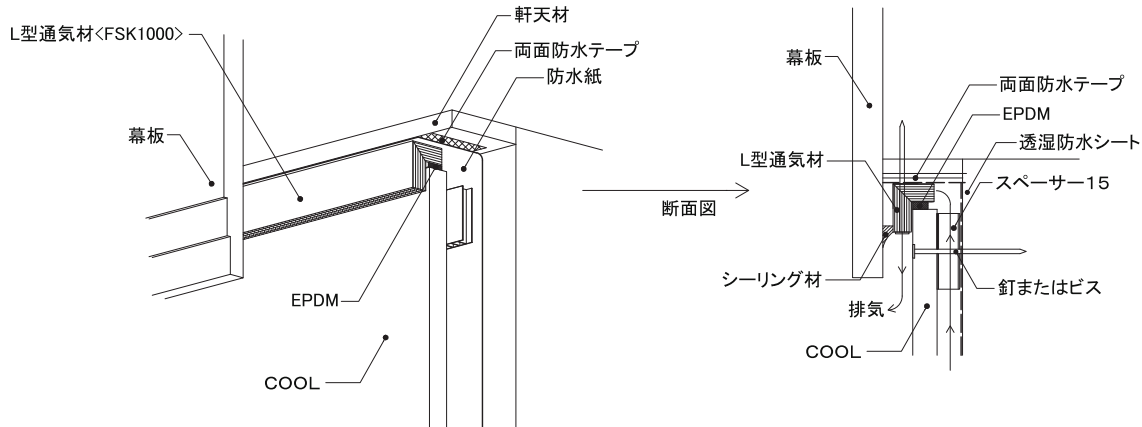


COOL 1. 5尺X6尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
	木造軸組下地	通気金具	横	なし

破風・パラペット部(L型通気材を使用した場合)

■破風板納まり例

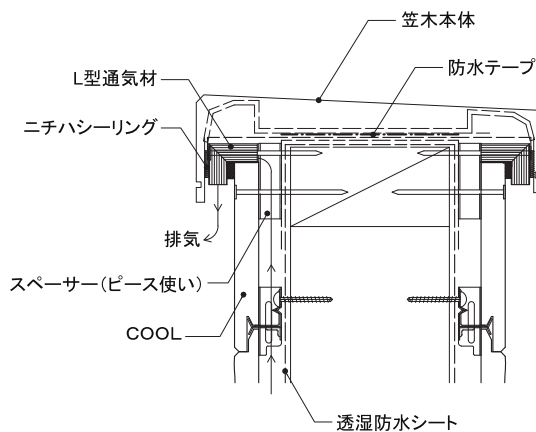
軒の出寸法が少ない破風やパラペット部分などは雨水浸入防止のため通気見切縁のかわりに、図のように、軒天換気部材:L型通気材を使用してください。



注意事項

- 防水紙の張り終わり部は両面防水テープを使用して、入念に止水処理をしてください。
- L型通気材は本体に付いている両面テープの剥離紙を剥がし、EPDMが付いている面を下向きにして、L型通気材を取り付けます。通気材はビスで本体に対し2本以上留め付けてください。
- 切妻屋根の妻面等の傾斜のある部分で使用する場合、モエン表面とL型通気材との隙間を10mm程度確保してください。隙間が狭すぎると、上手く施工できないおそれがあります。COOL施工後はL型通気材とモエンの間の隙間をシーリング処理してください。

■パラペット納まり例



注意事項

- COOLのビス打ち下地のスペーサーは通気を阻害しないように施工してください。
- COOLを施工する際、L型通気材を取り付ける為に、COOL上端を通常より12mm程度下げて施工します。
- L型通気材に付いているEPDMはCOOLの表面に押しつけるように取り付け、L型通気材本体に対してビス2本以上留め付けてください。
- アルミの笠木を使用する際は、L型通気材厚み分、一般の笠木より大きめの物を選定してください。

■その他の施工のポイント

- 部材の側面を完全に止水処理することが重要となります。
- 部材の連結部分は、両面防水テープ貼りもしくはシーリング処理をしてください。
- 部材及び破風(鼻隠し)等仕上げ材の留め付けは、胴縁または躯体に届くよう留め付けてください。